



ファイト!! ヨシコ!

〒101-0046
千代田区神田多町2-9-3
松本 よしこ

2017年 38号 晩夏
<http://matsumoto.sakurasv.com>
メールのご連絡もこちらからお願いします。

7月の酷暑から雨の多い8月が過ぎました。子どもたちの夏休みに、プールや海水浴、花火やキャンプなどで楽しめる機会が少なかったのではないのでしょうか。

この夏、自然の力の強さを何度となく味わってしまいました。天候の大きな変化が、今まで経験したことのない形であらわれています。

かつては、黒雲が広がり冷たい風がふき、雷とともに夕立となる。そして涼風を感じる夏の姿でした。

しかし昨今は突然、局地的な激しいゲリラ豪雨となり、排水が間に合わず、マンホールから噴出し、道路が冠水したり、土砂崩れや、大きな川が氾濫するまでに至っております。

今後、台風シーズンをむかえ、非常に心配になってきます。時と場所を選ばずいつ発生するかわからない自然現象災害について今一度、一人一人が、各家族が、そして地域がどのように対応すべきか、再度考える時期になりました。

それらについて区の役割は今まで以上に早急に対策を推進すべきだと痛感しています。大きな災害が発生しないことを切に願うのみです。



消防団

日頃から地域のために訓練を積んでくださる消防団の皆様 敬服と感謝です。



社会を明るくする運動

暑さ真っ盛りのパレードでした。学校・地域・協議会の皆様と運動の趣旨をお知らせできましたか? 街の方々にたくさん声援いただきました。



戦没者慰霊式典

九段中等教育学校の生徒さんの演奏と合唱が印象的でした。永遠の平和を祈り続ける必要性を実感しました。

区議として地域の皆様と区政をつなぐのが松本よしこの仕事です。皆様のお役にたてるよう働きますので、どうぞご意見やご要望、叱咤激励 どんどんお寄せ下さい。不在が多いため留守番電話、FAXまたホームページからの メールお願いします。



《再考・・・子育てについて》

『待機児童』という文字が社会の中で大きな課題となっていることは、ご承知のことと思います。保育園を希望しているが、満員なため入園を待っている乳幼児のことを指します。かつて仕事を続けるために家庭で保育する人と時間がないという理由で保育園の入園が許可されていました。0歳児の入園は少なく、各園一人か二人程でした。しかし現在は0歳児入園を希望する乳児が待機児童の中で一番多いそうです。

子育て中の女性の場合、『女性が輝く社会』とは外に出て仕事をするだけだけを指しているのでしょうか。そのための保育園作りが各自治体の大きな課題となっております。果たして保育園を増設し、乳幼児を入園させることが本当の子育てなののでしょうか？。わが子を家庭で自分で育てることは、輝く女性ではないのでしょうか？と疑問を持っています。

生まれたわが子を育て、そして自分も親として育ちます。子育て中の苦労を親子で経験し、ともに乗り越えることで、思ひやりや愛情を、そして挫折しても乗り越える力が身につくのではないのでしょうか。ある小児科の先生のお話では、家庭で親の愛情を3歳までにたっぷり注ぐことで、安定した情緒が生まれ、子どもが思春期、反抗期をむかえても家庭は安心の場所となるそうです。



0歳から3歳の乳幼児期はしっかり子育てに専念して、その後、仕事を続けて活躍できる体制を整えることが必要ではないのでしょうか。

本当に短い子育て期間を保障できる社会制度のもとで、母親が安心して子育てに専念できる社会づくりに力をつくしたいものです。

人間国宝・新内流の鑑賞

天皇皇后両陛下が国立小劇場での新内節のご鑑賞をされました。区長とともに、議長として、お出迎えとお見送りをさせて頂きました。皇后陛下より、ねぎらいのお言葉を頂戴いたしました。

《編集後記》：先日、内科医であり参議院議員の自見はなこさんの講演会がありました。



『健康寿命を延ばすためには、①野菜をたくさん食べましょう。今から一品野菜を多く食べましょう。②運動しましょう。スクワットが効果的。毎日15分以上歩くことを意識しましょう。③禁煙しましょう。一日〇本×年数・・・400を超えたら肺がんの危険性が高まります。』

知っているつもりでしたが、今一度家族も一緒に、親戚やお友達も巻き込んで、健康寿命を延ばす努力をしようと思いました。 T・T